よつ葉だより

2022年
11月21日号
No.723

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆

栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862

ご協力ありがとうございます

年末準備をゆっくり始めましょう

今週お届けする「くらら」が12月1週になりました。家族やご親戚で過ごす時間が増えるクリスマス、お正月と年末年始に向けて、準備を始める頃ですね。

新型コロナウイルスの影響がまだまだ続き、世情の不安定も続いています。電気代や食費、物価の値上がりが続いて、家計への負担がますます大きくなっています。ぞんぶんに食費にかけられない今、計画的に購入したり、割引商品をじょうずに利用したりして、よつ葉生活を続けていきましょう。

気温も下がり、身の回りが忙しくなってきます。この時期は、いつもにも増して体へのケアを心掛けたいですね。免疫力を保つために、「食事を大切にする」「十分な睡眠をとる」「適度な運動をこころがける」などして、健康第一の生活をしていきましょう。安心して食べられるよつ葉の農産物や商品は、私たちの健康を守るサポート役になりますよ！

12月1週くらら P28に年末年始カレンダーが付いています。お正月まで保存してくださいね。

今後の「くらら」の予定

12月1週
年末感謝セール
おせち特別号注文
乾物ご案内 第1弾！

12月2週
よつ葉の調味料
おせち特別号注文
乾物ご案内 第2弾！

12月3週
クリスマス特集

12月4週
年末年始の食生活も
よつ葉におまかせ、
お年賀品
おせち足りてますか？
（別チラシ）

おせち特別号の注文は
この週まで
受付！
12月2週

お見逃しなく。

年始のお休みは
1月2日(月)～6日(金)

1月9日(月)～通常のお届けとなります。

私たちの味噌を、私たちの手で
～2003 年、組合員による味噌開発委員会の歴史～

私たちの味噌を、私たちの手で～2003 年、組合員による味噌開発委員会の歴史～

よつ葉生協の 40 年の歴史を振り返る時、度々耳にする「組合員によるオリジナル商品開発」。第 1 号は 2003 年の味噌ですが、当時組合員の皆さんがどのように開発にかかわったのか、当時開発委員会の担当理事だった兼丸さんにお話を伺いました。

当時の味噌
当時の「よつ葉だより」より

「よつ葉生協で、安心して食べられる味噌が欲しい」という声が集まって、2003 年 2 月に「よつ葉会のオリジナル味噌を作る会」（商品開発委員会）が立ち上がりました。よつ葉だよりで募集した 8 名の組合員さんと担当理事がメンバーでした。

宮城県の鎌田醤油さんが私たちの思いに応えてくださることになり、まずは味噌や醤油を知る勉強会を、鎌田さんにお越しいただいて行いました。その後も包材や販売など、様々なことについて勉強を重ね、原材料や製法、商品企画やパッケージなどについても候補を出してもらいながら検討を進め、その年の 10 月の供給スタートを迎えることが出来ました。

委員会は必要に応じて頻繁に開かれ、とても忙しかったです。でもみんな夢中でした。味噌委員会が役目を終えた後も、皆、引き続き色々な委員会活動に積極的に関わっていました。

「よつ葉のこだわりぽん酢」開発の様子　（理事　堀）

よつ葉オリジナル「こうじみそ」から始まった商品開発委員会は、組合員の目線で「よつ葉生協のしょうゆ」「こだわりぽん酢」「オリジナルアイス ミルクと塩」などを開発しました。今も、多くの組合員に愛される商品になっています。毎日使う調味料が、厳選された材料で組合員の手で作られてきたことは、誇らしいことですね！

報告◇定方農園さん産地見学　　太田市　８月 22 日（月）

8/22（月）高崎・前橋地区委員会で、太田市の定方農園さんへ産地見学に行きました。この時期は朝早く 6 時頃から収穫されるそうですが、見学に合わせて 10 時頃から収穫作業をしていただきました。機械で土の中を少しずつ掘り起こしてゆっくり進み、後からごぼうを引き抜きます。

従業員の方の作業を見てから引き抜き体験をさせていただきました。土が柔らかくて思いの他、すーっと引き抜くことができました。とても太くて長いごぼうが出てくるのですが、素人の私でも切れる事なく、本当にすっと引き抜くことが出来ました。

畑は順次収穫されるので、葉がおい茂っている畑もあり、めずらしい「こぼうの花」を見る事が出来ました。

緑肥としてソルゴーを植え、粉砕して畑にしいて微生物の増殖を促したり、ＥＭをかけてよく分解した発酵たい肥を作る発酵鶏糞も使います。

無農薬・有機にこだわり、土づくりをされているご苦労に頭が下がります。最近の天候不順、資材の高騰などが家計を圧迫しているので、いつまで続けていけるか不安も口にされています。買い支え続けることで応援したいと思います。

お忙しい中、暑い中、見学受け入れていただいた事、感謝申し上げます。

（前橋高崎委員会　小保方）

『ごぼうの引き抜き体験！』

よつ葉文庫

NO.1286　『食べものがたりのすすめ』　湯澤規子　農文協

学生のワークショップを通じて、食べることからいろいろな方面へ話題をつなげ、やわらかな感覚の広がりを見い出します。

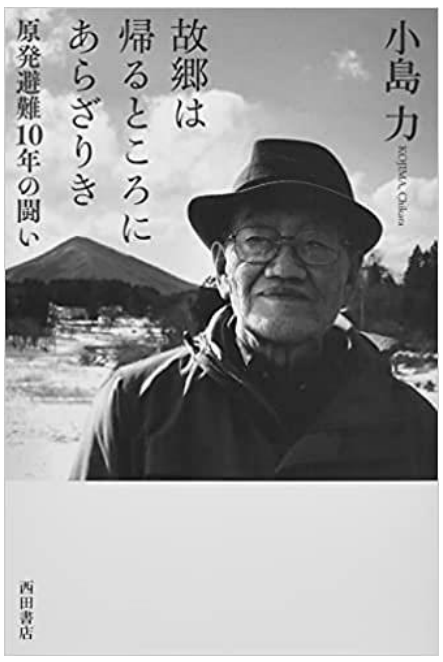
・100 年の食べものがたり　三世代年表は、祖母（祖父）母（父）私と時代や環境、食べものも異なる家族の食べものを通した歴史として整理が出来ます。
・イラストや地図で食べものはどこから来てどこに行く？
・ゴミはどこへ行く？ウンコはどこから来てどこに行く？
・ご飯をどこで食べているの？

食べものがたりから、物語と自分史をつくるのも面白そうです。　（会長　冨居）

NO.1287　『ヤングケアラー　介護する子どもたち』　毎日新聞取材班

小中学生・高校生が、親、祖父母、兄弟、姉妹の介護をせざるを得ない状況があることを報道されてまだ日が浅い。家族内のことなので、周りが知る機会も少ない。少子高齢化で子どもが少なくなっている中で、何故ヤングケアラーの人数が増えているのか、核家族の暮らし方で、子どもに負担がかかってしまうのか、現実を知ると、どのように解決の糸口を見つけ出せるのかというより、深刻な状況に思考が停止しました。

大人が大人を介護するのは人生経験もあり、公的サービスを受ける方法も知っているが、子どもは 100%抱え込みながら、自分で何とかしようと思ってしまいます。周りにも表面化しない、出口のない状況に追い込まれている子どもがいるのではないのかと気になっています。社会的に問題になり、全国的に調査もしていますが、子どもは決して己の限界を口に出さないでしょう。周りの大人の行動（国、地方行政、自治会組織も含めて）いかんにかかっていると思えるのです。コロナ禍で独自の取材を行って、社会へ問題提起を行なった毎日新聞チームに感謝します。　（会長　冨居）



NO.1288　『故郷は帰るところにあらざりき 原発避難 10 年の闘い』 小島力　西田書店

原発の放射能被害を受けた著者が、避難生活を強いられる中で、反原発の活動をしてきたことへの無力感を味わいながらも、仲間とともに東電と交渉をしてきたことをまとめています。

著者は、本が出来上がる前に亡くなられています。

出版することによって、原発事故はいまだに解決されていないことの証が出来たと思います。

葛尾村から武蔵野市へ五年経過して、古里には戻れず郡山に住居を求めました。病気になり、引越しできたのは 2019 年 6 月でした。

人為で引き起こされた「原発事故」をあたかも天災であるかのように「しょうがあんめぇ」と諦めてしまっていいものか。この悔しさと無念さは、放射能で全てを奪われた人の魂の叫びである。　（会長　冨居）

よつ葉文庫のご案内

「よつ葉文庫」は組合員のための図書室です。どんな本があるのか、リストをご希望の方は、よつ葉生協本部（TEL0120-07-1613）までお電話いただければ配送と一緒にお届けします。リストは、よつ葉生協 HP でもご覧いただけます（トップページ→「よつ葉文庫」のアイコンをクリック）。

借りたい本が見つかったら、注文書のご意見ご要望欄に本のナンバー・題名・貸し出し希望を記入して、配送員にお渡しください。翌週、配送と一緒に本をお届けするのが基本ですが、貸し出し希望が多い本の場合お待ちいただくこともありますので、ご了解ください。「よつ葉文庫」の本を読んでの感想も引き続きお待ちしています。スペースの許す限り、「利用者の声」として紙面でご紹介します。

文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先にお願いいたします。

結　城

●イベント　谷口たかひささんお話会
『みんなが知れば必ず変わる！』

●日　時　12月6日（火）9：45～

●場　所　結城市公民館結城市役所旧庁舎
（茨城県結城市結城1447）

●料　金　無　料（カンパ制）

●申　込　https://lin.ee/FpLT3hv
↑公式ラインに友達登録して申込

●後　援　結城市教育委員会

＜内容詳細URL＞
https://www.facebook.com/events/655268465875122

大型台風や水害、野外で活動できないほどの暑さ、ここ数年今まで当たり前にできていたことができなくなっていると感じている方は少なくないでしょうか？

日本ではあまり報道されない今の世界の状況や気候危機について、全国各地で講演されている環境活動家の谷口たかひささんが、映像を交えながらわかりやすく話してくれます。

谷口さんは、「気候変動で最初に失うものは“自然”ではなく“平和”。地球温暖化や異常気象などの【気候危機】は無関心でいられる人はいても、無関係でいられる人はいない」と話します。まずは「知る」ことから始めませんか？

お願い～よつ葉生協は廃食油の回収は行っておりません

以前、ガソリンに代わる燃料であるバイオディーゼルの原料として、よつ葉生協でも廃食油を回収していましたが、バイオディーゼル使用の取り組みは、小山市が2021年3月をもって休止しましたので、車での使用もしておりません。
廃食油は、各自治体では回収しているところも多くありますので、お住まいの自治体にご確認下さい。よろしくお願いいたします。

コミュニケーションカード

ご意見、ご要望、何でもどうぞ。
配達時に提出してください。

配送担当者へのメッセージカードとしても!!

組合員番号						組合員名

※寄せられたご意見は、よつ葉のサービス向上のために、よつ葉だより、くらら等に掲載させて頂く事があります。

掲載しても　□良い　□悪い

※寄せられたご意見は、よつ葉生協のサービス向上の為、それ以外には、一切使用いたしません。

組合員さんの声

お世話になります。秋山さんの農業体験で収穫した金時草、さし木をしたら、又、おいしそうな濃い紅色の葉が出てきました。二度目の収穫です。「いただきます」。

（栃木地区　K・Sさん）

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告（11月2週分）

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています　（単位：円）

栃木コロナ支えあい基金	（860番）	6，500
群馬コロナウイルス対策募金	（861番）	4，100
茨城誰かのために募金	（862番）	2，400
合　計		13，000

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側［企画商品・募金］内の［募金関連］をクリック。
一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金　募金報告（11月2週分）

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています　（単位：円）

放射能から子どもを守る募金	（900番）	6，800
震災孤児を支援する募金	（910番）	18，800
「有機農業と国産種子」募金	（920番）	8，200
合　計		33，800

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側［企画商品・募金］内の［募金関連］をクリック。
一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合　小山市粟宮1223
0120-07-1613　TEL 0285-45-9100　FAX 0285-45-9101
HP https://yotsubacoop.jp/　メールアドレスが変わりました。
よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp
ホームページ　Facebook　Instagram